

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)

【公表番号】特表 2018-509989 (P2018-509989A)
 【公表日】平成 30 年 4 月 12 日 (2018.4.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-014
 【出願番号】特願 2017-549517 (P2017-549517)
 【国際特許分類】

A 6 1 M 16/00 (2006.01)

A 6 1 M 16/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 16/00 3 1 0

A 6 1 M 16/16 F

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 2 日 (2019.9.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

湿気を含むガスを搬送するガス導管、

前記ガス導管の外側にある検知部品が前記ガスの特性を検知することを可能にする検知導管、及び

前記ガス導管の内側に置かれ、前記ガス導管に対し長手方向に延在している多数の壁部を有するフロー部材において、

前記検知導管は、前記ガス導管の外壁を貫通し、前記ガス導管の内側ある遠位端部で終わり、前記遠位端部は、前記ガス導管の前記外壁から距離を置くことにより、前記検知導管に入ってくる前記ガスに含まれる湿気の量を減らすように構成される、

前記多数の壁部は、正しい向き及び逆さまの向きにおいて、重力が湿気に前記遠位端部から離れて流れさせるような外形である、及び

前記多数の壁部の第 1 の壁は、前記遠位端部に置かれるポートを形成するフロー部材。

【請求項 2】

前記多数の壁部の第 2 の壁及び第 3 の壁は、湿気をブロックし、湿気が前記ポートから離れて及び前記ポートより下に流れさせるために、互いに及び前記第 1 の壁から離間され、並びに前記第 2 の壁は、前記第 1 の壁と前記第 3 の壁との間に置かれている、請求項 1 に記載のフロー部材。

【請求項 3】

前記第 1 の壁、前記第 2 の壁及び前記第 3 の壁は、互いに概ね平行に向けられている、請求項 2 に記載のフロー部材。

【請求項 4】

前記第 1 の壁、前記第 2 の壁及び前記第 3 の壁の各々は、前記検知導管に向いて凹んでいる、請求項 2 に記載のフロー部材。

【請求項 5】

前記第 1 の壁は、前記ガス導管に沿った第 1 の縦方向長を持ち、前記第 2 の壁は、前記ガス導管に沿った第 2 の縦方向長を持ち、前記第 3 の壁は、前記ガス導管に沿った第 3 の

第 3 の縦方向長を持ち、前記第 1 の縦方向長は、前記第 2 の縦方向長及び前記第 3 の縦方向長の各々よりも大きい、請求項 2 に記載のフロー部材。

【請求項 6】

前記ガス導管は、互いに向かい合って置かれる第 1 の側部及び第 2 の側部を持ち、前記検知導管は、前記第 1 の側部から内側に延在し、前記第 2 の壁及び前記第 3 の壁の各々は、前記第 2 の側部と前記ポートとの間に少なくとも部分的に置かれている、請求項 2 に記載のフロー部材。

【請求項 7】

前記検知導管は、第 1 のフロー導管及び前記第 1 のフロー導管から前記ガス導管に沿って離間される第 2 のフロー導管を有する、請求項 1 乃至 6 の何れか一項に記載のフロー部材。

【請求項 8】

前記ガス導管及び前記検知導管は、一体成形の材料から作られる、請求項 1 乃至 7 の何れか一項に記載のフロー部材。

【請求項 9】

カバー

前記検知部品を有する検知組立体、並びに

請求項 1 乃至 8 の何れか一項に記載される、及びさらに前記検知組立体を囲む取り付け部を有するフロー部材
を有するフロー組立体。

【請求項 10】

前記検知組立体はさらに圧力センサを有する、及び前記フロー部材はさらに前記圧力センサが前記ガス導管にある前記ガスの圧力を検知することを可能にする圧力導管を有する、請求項 9 に記載のフロー組立体。

【請求項 11】

前記検知部品は、第 1 のフロー検知部品及び第 2 のフロー検知部品を有し、前記検知組立体はさらに、前記ガス導管上に置かれるシールガスケットを有し、前記シールガスケットは、第 1 の貫通孔、第 2 の貫通孔及び第 3 の貫通孔を持ち、前記第 1 のフロー検知部品は、前記第 1 の貫通孔と一直線に並べられ、前記第 2 の検知部品は、前記第 2 の貫通孔と一直線に並べられ、前記圧力センサは、前記第 3 の貫通孔と一直線に並べられる、請求項 10 に記載のフロー組立体。

【請求項 12】

前記フロー部材はさらに、各々が前記ガス導管から外側に延在している第 1 の安定化要素及び第 2 の安定化要素を有し、前記第 1 の安定化要素及び前記第 2 の安定化要素の各々は、前記シールガスケットを前記フロー部材上に保持するために、前記シールガスケットとかみ合っている、請求項 11 に記載のフロー組立体。

【請求項 13】

患者インタフェース装置、

患者のための呼吸ガス流を生成するように構成されるガス流発生器、並びに

前記ガス流発生器と前記患者インタフェース装置との間に結合される結合導管及び請求項 10 乃至 12 の何れか一項に記載のフロー組立体、
を有する圧支持システム。